

今日の説教のポイント<マタイによる福音書 16 章 21～28 節

①イエス様の十字架の死と復活の意味はいつ分かる？

「このときから」(21)、イエス様はご自分の十字架の死と三日目の復活を弟子たちに打ち明け始められたとあります。それは、弟子たちに「私を何者だと思うか」と問われ、ペトロが「あなたはメシア、生ける神の子です」(16)と答えたときから、です。このことから幾つかのことが分かります。1) 十字架と復活は簡単に分かるものではなく、2) イエス様の教えと生き様をある程度知って初めて受けとめられるものだが、3) それでも本当に理解できるまでには長くかかるものだ、ということ。答えを聞いてイエス様がほめられたペトロでさえ、次のような姿を示したからです。

②神様を信じたら、悪いことは起こらない？

ところが、イエス様がそれを弟子たちに話し出された途端、こともあろうに、見事な信仰告白をしたペトロが、「主よ、とんでもないことです。そんなことがあってはなりません」(22)、と主をいさめ始めたのです。原文通り訳すと、「神様はあなたに恵み深いお方。よって、あなたにそんなことは決して起こらない」、となります。ペトロは、「神様を信じたら、悪いことは起こらない」と、大変素朴に考えていたのです。これはある意味深い真理です。しかし、もし世間一般の御利益信仰と同じように考えていたら、それは違うのです！

③キリスト教信仰の極意。この方イエス様を自分の前に置くこと！

イエス様はペトロに、「サタン、(私の後ろに) 引き下がれ。あなたは私の邪魔をする者。神のことを思わず、人間のことを思っている」(23)と言われました。ペトロはイエス様の前に出たのです。そして、自分で受け入れられることを先行させた結果、イエス様を父なる神様から離れさせようとしてしまったのです。人間に災いと思えることの先に、神様が大きな恵みを用意して下さっていることがある。この真理を私たちはイエス様の十字架の死と復活から教えられるのであり、「自分の命を救いたいと思う者はそれを失うが、私のために命を失う者はそれを得る」(25)の言葉に聞き取らなければならないのです！